

オンラインライブ中継による東京・名古屋・大阪同時開催

ビジネス契約・契約書の基本と法的リスク

主催：(社)企業研究会 / 協力：TAC(株)

《開催要領》

東京会場

- 日時● 2014年11月27日(木)
10:00~17:00
- 会場● 企業研究会セミナールーム
(東京：麹町5丁目)

名古屋会場

- 日時● 2014年11月27日(木)
10:00~17:00
- 会場● TAC名古屋校
(名古屋：名鉄バスターミナルビル9F)

大阪会場

- 日時● 2014年11月27日(木)
10:00~17:00
- 会場● TAC梅田校
(大阪：梅田センタービル5F)

《開催にあたって》

当セミナーは、講師が来場する東京会場をメイン会場として、その模様を名古屋会場・大阪会場に中継致します(名古屋会場・大阪会場への講師の来場はありません)。中継については、TV製作会社である(株)東通が担当し、双方向コミュニケーションにより、名古屋会場・大阪会場からの質疑応答も可能です。
(裏面のご案内もご覧ください)

講師

佐藤経営法律事務所
弁護士・米国公認会計士・公認内部監査人 佐藤 孝幸 氏

講師紹介

早稲田大学政治経済学部政治学科卒業。外資系銀行において金融業務、米国外大手会計事務所において国際税務コンサルティング業務、大手総合商社において契約法務等に従事。2002年4月 佐藤経営法律事務所開設。複数の企業の社外監査役も務める。主な著書として『実務契約法講義』(民事法研究会)、『英文契約書の読み方』(かんき出版)、『たぐいまれな授業 内部統制がよくわかる講座』(かんき出版)、『詳解 監査役の実務』(中央経済社)がある。



《申込書》一般社団法人 企業研究会 セミナー事務局宛

■『東京会場』受講料 1名(税込・昼食代含む)

(申込書をFAXでご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。)

↓希望会場に「○」をご記入下さい。 **FAX:03-5215-0951**

正会員	37,800円(本体価格 35,000円)
一般	41,040円(本体価格 38,000円)

■『名古屋・大阪会場』受講料 1名(税込・昼食代を含みません)

正会員	36,720円(本体価格 34,000円)
一般	39,960円(本体価格 37,000円)

■参加要領

申込書はFAX、または下記担当宛E-mailにてお送り下さい。当会ホームページからお申込み頂けます。後日(開催日1週間前~10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。

※よくあるご質問(FAQ)は当会ホームページにてご確認いただけます。([TOP]→[公開セミナー]→[よくあるご質問])

※お申込後のキャンセルはお受けしかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理の方のご出席をお願いいたします。

※最少催行人数に満たない場合は、中止とさせていただきます。

■お申し込み・お問い合わせ先

一般社団法人企業研究会 公開セミナー事業グループ

担当/川守田 E-mail: kawamorita@bri.or.jp

TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951

〒102-0083 東京都千代田区麹町 5-7-2 麹町 31M Tビル 2F

《東京会場:141559-0303(※)》2014.11.27 ビジネス契約・契約書	
《名古屋会場:141570-0303(※)》2014.11.27 ビジネス契約・契約書	
《大阪会場:141571-0303(※)》2014.11.27 ビジネス契約・契約書	
ふりがな 会社名	
住所	〒
TEL	FAX
ふりがな ご氏名	所属 役職
E-mail	
ふりがな ご氏名	所属 役職
E-mail	
ふりがな ご氏名	所属 役職
E-mail	

*申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

ビジネス契約・契約書の基本と法的リスク

10:00

■開催にあたって■

普段、ビジネスを進める上で幾度となく取り交わされる契約書ですが、その内容によっては本来得るべき利益を得られなかったり、過大なリスクを負わされる可能性があります。さらに、契約に不備があれば後に思わぬトラブルに発展し、自社が多大な不利益を被る場合もあります。

本セミナーでは、「契約」の概念や「契約書」の構成など基本的な事から、交渉を進める上での留意点や契約締結後のトラブル対処といった実務上の問題まで、基礎からわかりやすく解説していきます。

また、関連テーマにつき「民法(債権関係)の改正に関する中間試案」の議論も踏まえた解説も予定しております。

■プログラム■

- I. 契約の意義と機能
 1. 契約とは
 2. 契約の機能
- II. 契約の拘束力と契約自由の原則
 1. 契約自由の原則
 2. 契約自由の限界
 3. 契約の法的拘束力の程度
- III. 契約実務における法律専門家の役割
 1. 守りやすく、破られにくい
 2. 取引から生じるリスクへの対処
 3. 戦略法務
 4. 契約書作成の必要性
- IV. 契約締結交渉における留意点
 1. 契約交渉を一方的に破棄した当事者の損害賠償責任
 2. 契約交渉過程における当事者の告知・説明義務、情報提供義務
 3. 契約書に署名する前に契約が成立することはあるのか
 4. 損害賠償額の予定・違約金特約
- V. 「秘密保持契約書」を使ってのケーススタディ
- VI. 契約継続中における契約実務上の留意点
 1. 再交渉義務とハードシップ (hardship) 条項
 2. 不可抗力条項
 3. 契約の履行を拒絶できる場合があるか — 不安の抗弁
- VII. 契約の終了における契約実務上の留意点
 1. 解除と解約
 2. 合意解除 (合意解約)
 3. 約定解除 (約定解約)
- VIII. 「取引基本契約書」における典型条項の解説と法的リスク
- IX. その他の契約書 (進行具合に応じて、その他の契約書も見てください)

＝ ご案内 ＝

※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。

※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせていただきます。

※名古屋会場、大阪会場のご昼食につきましては、ご参加者の皆様が各自、セミナー会場近隣の飲食店にてお召し上がり頂く形となります。

※セミナー中、映像及び音声のトラブルがあった場合は、下記の通り対応をさせていただきますので、ご了承の上、お申込をいただけるようお願い申し上げます。

■映像など切断した場合、再接続してから講義を再開致します。

■接続が回復できない場合、もしくは音声途切れるなど 配信品質が著しく低下した場合、受講料を返金させていただきます。

17:00